

平成27年国勢調査

人口等基本集計結果

村上市の人口と世帯（確定値）

この結果は、平成27年10月1日現在で実施された「平成27年国勢調査」の人口等基本集計結果（平成28年10月26日総務省統計局公表）から村上市の概要をとりまとめたものです。

なお、集計結果は、インターネットでもご覧いただけます。

村上市結果 統計からみる村上市 <http://www.city.murakami.lg.jp/site/tokeimurakami/>

新潟県結果 新潟県統計ボックス <http://www.pref.niigata.lg.jp/tokei/>

全国結果 総務省統計局HP <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>

○ 人口等基本集計とは

人口等基本集計は、全ての調査票を用いて市区町村別の人口、世帯、住居に関する結果及び外国人、高齢者世帯等に関する結果について集計した確定値です。

例) 男女・年齢・配偶関係別人口、世帯の家族類型別世帯数、住居の種類別世帯数、高齢者のいる世帯数、外国人人口・外国人のいる世帯数など

平成29年8月

村上市役所政策推進課情報化推進室

統計担当

TEL 0254-53-2111（内線501）

用語の解説

〔人口〕

国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住人口とは調査時に調査の地域に常住している者をいいます。「常住している者」とは、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている者をいい、3か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時現在にいた場所に「常住している者」とみなしています。

〔世帯の種類〕

国勢調査では、世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」の2種類に区分しています。

「一般世帯」とは、「施設等の世帯」以外の世帯をいいます。

「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯をいいます。

〔配偶関係〕

配偶関係は、届け出の有無にかかわらず、実際の状態により次のとおり区分しています。「未婚」はまだ結婚したことのない人、「有配偶」は妻又は夫のある人、「死別」は妻又は夫と死別して独身の人、「離別」は妻又は夫と離別して独身の人をいいます。

詳しくは、総務省統計局のホームページ『平成27年国勢調査 調査結果の利用案内 - ユーザーズガイド - 』を参照してください。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/users-g.htm>

数値の見方

- 1 本文及び図表の数値は、その表章単位に合わせて公表数値を四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。
ただし、増減数や増減率は公表数値から算出しています。
- 2 割合は、特に注記のない限り、分母から不詳を除いて算出しています。また、過去の割合も同様の方式で再計算しています。
- 3 本文及び図表の順位は、特に断りのない限り、数値の大きい順によっています。また、率等が同一の場合は、表章単位未満の位で決定しています。

結果の概要

平成27年国勢調査 村上市の人口及び世帯数の確定値 (平成27年10月1日現在)

	平成27年	平成22年	増減数	増減率
総人口	62,442	66,427	△ 3,985	△6.00%
男	29,824	31,548	△ 1,724	△5.46%
女	32,618	34,879	△ 2,261	△6.48%
世帯数	22,138	22,058	80	0.36%
うち一般世帯数	22,069	22,018	51	0.23%

1 昭和30年をピークに12回連続で人口減少

- ・ 総人口は、前回の平成22年に比べ3,985人、6.0%減少しました。
- ・ 国勢調査人口は、昭和30年(1955年)の94,284人をピークに、昭和35年(1960年)調査から12回連続で減少し、調査がスタートした大正9年(1920年)の65,589人(過去最低)を初めて下回りました。
- ・ 減少数 3,985人は、前回の4,278人を下回りました。
- ・ 村上市の人口順位は全県 8 位でした。(前回同位)

2 人口増加は32行政区、人口減少は241行政区(市を276行政区とした場合)

- ・ 行政区別の人口では、坂町が最も多く、1,469人、次いで山辺里1,208人、府屋941人の順で、最も少ないのは温泉1丁目の7人となっています。
- ・ 前回に比べ、人口が最も増加したのは、田端町(117人増)、次いで同数で飯野三丁目と岩船上町(72人増)でした。反対に最も減少したのは塩谷(126人減)でした。

3 市人口に占める割合(県内30市町村中)

- ・ 15歳未満人口(年少人口) 10.6%(全県21位)、1.3ポイント低下
- ・ 15~64歳人口(生産年齢人口) 53.8%(同22位)、2.7ポイント低下
- ・ 65歳以上人口(老年人口) 35.5%(同9位)、4.0ポイント上昇
- ・ 不詳0.1%

4 男女とも未婚率が上昇

- ・ 15歳以上人口の未婚率は、前回に比べ男女とも上昇し、男性29.0%(前回比1.9ポイント上昇)、女性16.7%(同0.6ポイント上昇)となっています。

5 高齢単独世帯数が急増

- ・ 単独世帯が引き続き増加傾向にあります。
- ・ 県・国より「ひとり親と子供から成る世帯」の割合が高くなっていることが特徴として挙げられます。
- ・ 80歳以上の単独世帯は平成12年から約5倍と急増しています。
- ・ 65歳人口のおよそ8人に1人は単独世帯となっています。

目次

I 人口

1 村上市の人口	1
2 地区別・行政区別人口	3
3 年齢（3区分）別人口	4
4 配偶関係	5
5 外国人人口	6

II 世帯数

1 総世帯数（一般世帯および施設等の世帯）	7
2 一般世帯の家族類型	9

統計表

別表 行政区別男女人口および世帯数（市の独自集計）

人口

1 村上市の人口

- 村上市の人口は、62,442人で、全県8位
- 国勢調査が始まって以来、過去最低の人口

平成27年10月1日現在の村上市の人口は62,442人で、前回調査の平成22年に比べて3,985人、6.0%の減少となりました。男女別にみると、男性が29,824人で、1,724人、5.5%の減少、女性が32,618人で2,261人6.5%の減少となっています。

国勢調査人口は、昭和30年（1955年）の94,284人をピークに昭和35年（1960年）調査から12回連続で減少し、国勢調査がスタートした大正9年（1920年）の65,589人を初めて下回りました。今回の調査は大正9年に行われた我が国最初の国勢調査から数えて20回目になります。

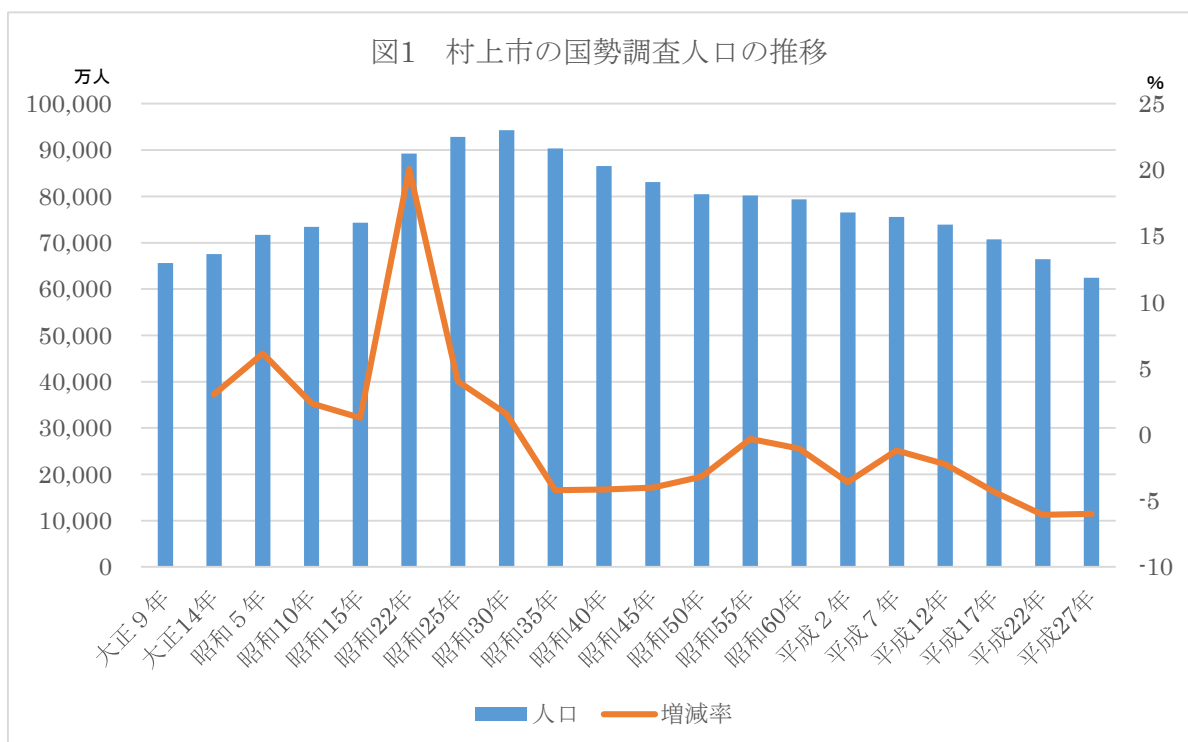
減少数3,985人は前回の4,278人を下回り、減少に歯止めをかける形となりました。

全国人口は、1億2,709万4,745人、県人口は2,304,264人で、村上市は前回と同じく全県8位となりました。（表1・2、図1）

表1 平成27年国勢調査 村上市の人口及び世帯数の確定値（平成27年10月1日現在）

（単位：人）

	平成27年	平成22年	増減数	増減率
総人口	62,442	66,427	△ 3,985	△ 6.00%
男	29,824	31,548	△ 1,724	△ 5.46%
女	32,618	34,879	△ 2,261	△ 6.48%
世帯数	22,138	22,058	80	0.36%
うち一般世帯数	22,069	22,018	51	0.23%



(単位：人、%)

表2 各地区男女別人口の推移

	人口			対前回人口増減		男女別割合	
	総数	男	女	増減数	増減率	男	女
大正9年	65,589	31,475	34,114			48.0	52.0
大正14年	67,575	32,525	35,050	1,986	3.03	48.1	51.9
昭和5年	71,714	34,389	37,325	4,139	6.13	48.0	52.0
昭和10年	73,399	34,986	38,413	1,685	2.35	47.7	52.3
昭和15年	74,324	35,479	38,845	925	1.26	47.7	52.3
昭和22年	89,237	41,908	47,329	14,913	20.06	47.0	53.0
昭和25年	92,840	44,404	48,436	3,603	4.04	47.8	52.2
昭和30年	94,284	44,682	49,602	1,444	1.56	47.4	52.6
昭和35年	90,322	42,293	48,029	△3,962	△4.20	46.8	53.2
昭和40年	86,565	41,138	45,427	△3,757	△4.16	47.5	52.5
昭和45年	83,107	39,438	43,669	△3,458	△3.99	47.5	52.5
昭和50年	80,460	38,249	42,211	△2,647	△3.19	47.5	52.5
昭和55年	80,206	38,221	41,985	△254	△0.32	47.7	52.3
昭和60年	79,366	37,786	41,580	△840	△1.05	47.6	52.4
平成2年	76,511	36,146	40,365	△2,855	△3.60	47.2	52.8
平成7年	75,591	36,020	39,571	△920	△1.20	47.7	52.3
平成12年	73,902	35,266	38,636	△1,689	△2.23	47.7	52.3
平成17年	70,705	33,565	37,140	△3,197	△4.33	47.5	52.5
平成22年	66,427	31,548	34,879	△4,278	△6.05	47.5	52.5
平成27年	62,442	29,824	32,618	△3,985	△6.00	47.8	52.2

各年10月1日基準

※平成17年までの集計は、市町村合併前の旧市町村・旧町村集計の合算です

2 行政区别人口

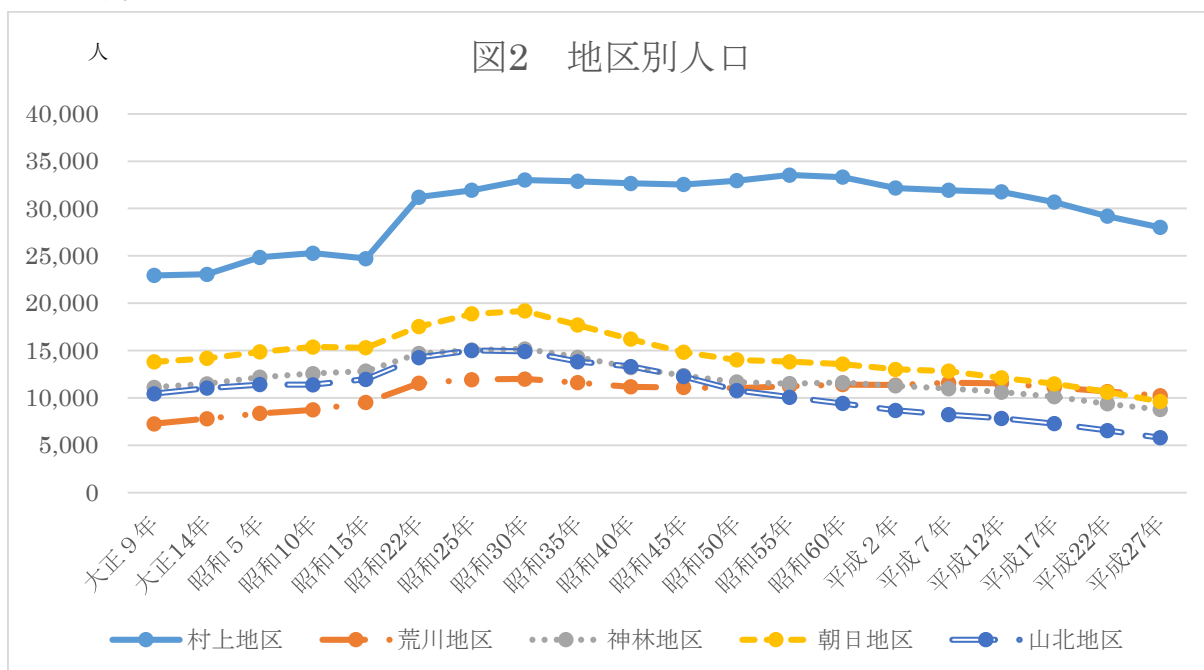


表3

(単位：人)

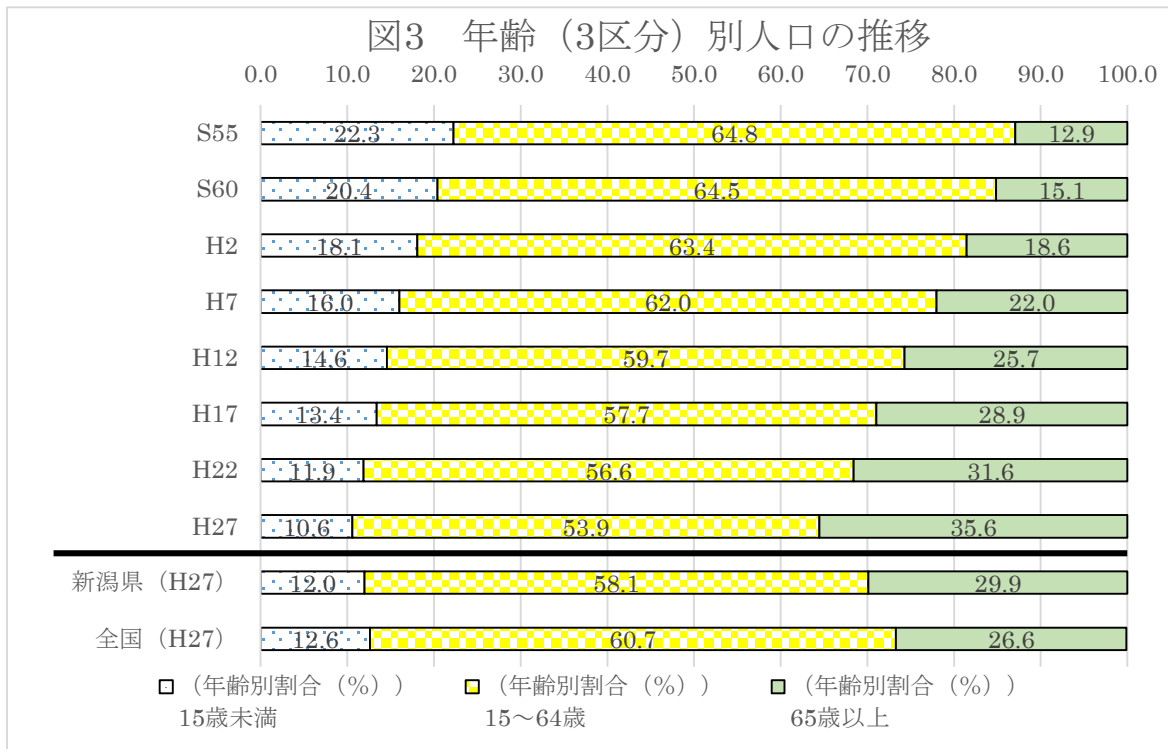
実施年	村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区
大正9年	22,942	7,274	11,120	13,804	10,449
大正14年	23,054	7,809	11,500	14,177	11,035
昭和5年	24,858	8,376	12,197	14,865	11,418
昭和10年	25,296	8,735	12,584	15,383	11,401
昭和15年	24,712	9,519	12,826	15,305	11,962
昭和22年	31,204	11,544	14,688	17,530	14,271
昭和25年	31,935	11,938	15,069	18,891	15,007
昭和30年	33,014	12,002	15,178	19,184	14,906
昭和35年	32,878	11,617	14,296	17,702	13,829
昭和40年	32,651	11,168	13,213	16,208	13,325
昭和45年	32,549	11,109	12,358	14,829	12,262
昭和50年	32,939	11,035	11,682	14,016	10,788
昭和55年	33,540	11,247	11,514	13,830	10,075
昭和60年	33,325	11,418	11,629	13,578	9,416
平成2年	32,171	11,353	11,277	13,014	8,696
平成7年	31,938	11,596	10,989	12,837	8,231
平成12年	31,758	11,555	10,625	12,125	7,839
平成17年	30,685	11,105	10,135	11,489	7,291
平成22年	29,186	10,678	9,385	10,621	6,557
平成27年	28,009	10,231	8,782	9,617	5,803

※施設の人口を含む

- ・市を276行政区に分けた場合、人口増加は32行政区、変動なしは3行政区、人口減少は241行政区となりました。
- ・行政区別の人口では、「坂町」が最も多く1,469人、次いで「山辺里」1,208人、「府屋」941人の順で、最も少ないのは「温泉1丁目」の7人となっています。
- ・前回に比べ、人口が最も増加したのは、「田端町」(117人増)、次いで同数で「飯野三丁目」と「岩船上町」(72人増)でした。反対に最も減少したのは「塩谷」(126人減)でした。【各行政区の集計結果は巻末を参考】

3 年齢(3区分)別人口

- 15歳未満人口(年少人口) 10.6%(全県21位)、1.3ポイント低下
- 15～64歳人口(生産年齢人口) 53.8%(同22位)、2.7ポイント低下
- 65歳以上人口(老年人口) 35.5%(同9位)、4.0ポイント上昇
- 不詳0.1%



グラフ割合は、分母から不詳を除いて四捨五入して算出しているため、文章内の数値と一致しない。

65歳以上人口(老年人口)は22,167人で、市人口に占める割合は35.5%で調査開始以来最も高くなっています。(図3)

平均年齢は、市平均で51.6歳となっており、県平均48.5歳、全国平均46.4歳を大きく上回っています。(表4)

表4

平成27年	村上市	村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区
平均年齢	51.6歳	50.2歳	49.6歳	51.9歳	53.5歳	58.4歳

4 配偶関係

○未婚率は、
男性が29.0%（前回比1.9ポイント上昇）、女性が16.7%（同0.6ポイント上昇）

男女別15歳以上人口の配偶関係をみると、未婚率は男性が29.0%、女性が16.7%となっており、平成22年と比べると、男性で1.9ポイント、女性で0.6ポイント上昇しています。（表5・表6）

表5 配偶関係、男女別15歳以上人口

男女・配偶関係	実数(人)		割合(%)		平成22年と27年の差 (ポイント)
	平成27年	平成22年	平成27年	平成22年	
男	26,361	27,397	100	100	-
未婚	7,643	7,436	29.0	27.2	1.9
有配偶	16,254	17,631	61.8	64.4	△2.7
死別	1,143	1,169	4.3	4.3	0.1
離別	1,274	1,121	4.8	4.1	0.7
不詳	47	40	-	-	-
女	29,384	31,069	100.0	100.0	-
未婚	4,895	5,001	16.7	16.1	0.6
有配偶	16,313	17,789	55.6	57.4	△1.8
死別	6,464	6,630	22.0	21.4	0.6
離別	1,665	1,584	5.7	5.1	0.6
不詳	47	65	-	-	-

未婚率を年齢階級別にみると、ほぼ全ての世代で上昇しており、25～29歳では、男性が71.7%、女性が58.2%と、それぞれ3.3ポイント、3.5ポイント上昇しています。30～34歳では、男性が49.4%、女性が30.9%と、男性が3.4ポイント、女性が2.5ポイントそれぞれ上昇しています。

表6 年齢（5歳階級）、男女別未婚率、未婚数（15歳以上）

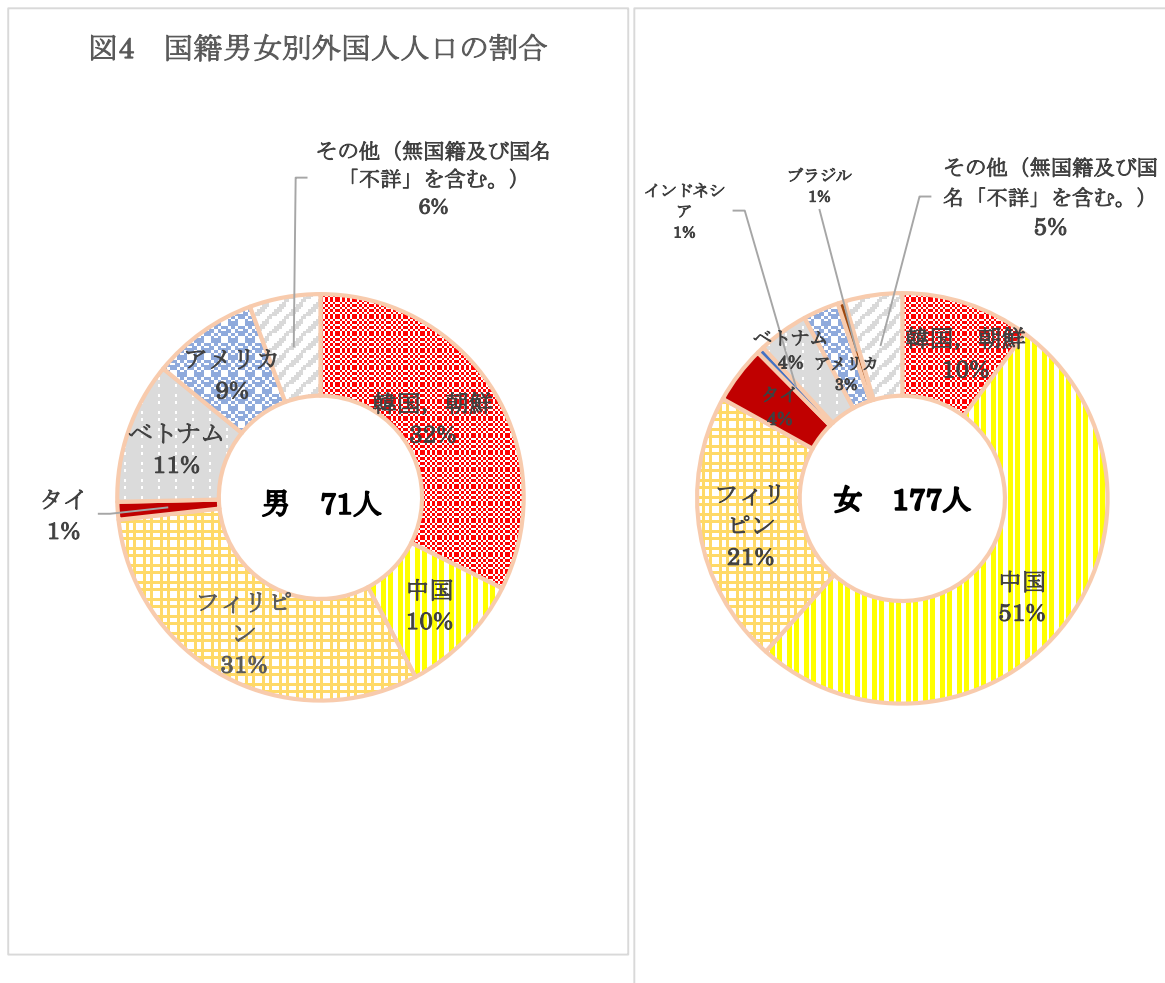
国勢調査年	平成27年				平成22年				平成22年と27年の差	
	男		女		男		女		男	女
項目	未婚率(%)	未婚数(人)	未婚率(%)	未婚数(人)	未婚率(%)	未婚数(人)	未婚率(%)	未婚数(人)	(ポイント)	(ポイント)
15歳以上計	29.0	7,643	16.7	4,895	27.2	7,436	16.1	5,001	1.9	0.6
15～19歳	99.5	1,538	99.6	1,377	99.9	1,623	99.6	1,549	-0.4	0.0
20～24歳	92.8	1,057	86.8	891	92.0	979	86.3	906	0.8	0.5
25～29歳	71.7	838	58.2	595	68.5	926	54.7	675	3.3	3.5
30～34歳	49.4	669	30.9	376	46.0	778	28.4	446	3.4	2.5
35～39歳	37.5	633	21.2	335	36.6	688	19.0	341	0.9	2.2
40～44歳	32.8	619	16.4	290	28.5	521	13.7	253	4.3	2.6
45～49歳	26.5	483	13.9	256	25.7	508	9.1	169	0.8	4.8
50～54歳	25.1	489	9.0	163	20.7	433	6.4	133	4.5	2.5
55～59歳	20.7	427	6.5	135	17.3	449	3.9	103	3.4	2.7
60～64歳	16.8	427	3.8	100	11.1	316	3.3	94	5.7	0.5
65～69歳	10.5	288	3.4	95	5.6	120	2.8	68	4.9	0.6
70～74歳	5.1	102	2.9	69	2.6	55	2.8	72	2.6	0.1
75～79歳	2.4	44	2.9	69	1.1	21	2.5	69	1.3	0.3
80～84歳	1.1	16	2.4	59	0.8	11	3.0	66	0.3	-0.5
85～89歳	1.3	11	3.3	57	0.9	6	2.4	38	0.4	0.9
90～94歳	0.7	2	2.2	20	0.9	2	2.1	15	-0.2	0.1
95～99歳	-	-	3.0	8	-	-	1.9	4	-	1.1
100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

5 外国人人口

○ 本市の外国人人口は、248人で、9.3%増加

本市に住む外国人人口は、248人で平成22年に比べて21人、9.3%増加しました。

国籍別にみると、「中国」が98人（外国人人口の39.5%）で最も多く、次いで「フィリピン」が60人（同24.2%）、「韓国,朝鮮」が41人（同16.5%）、「ベトナム」が15人（同6.0%）などとなっています。（図4）



注1) 「その他」には、無国籍及び国名「不詳」を含む。

注2) 二つ以上の国籍を持つ人については、日本と日本以外の国の国籍を持つ人の国籍は「日本」、日本以外の二つの国の国籍を持つ人は、調査票の国名欄に記入された国としている。

II 世帯数

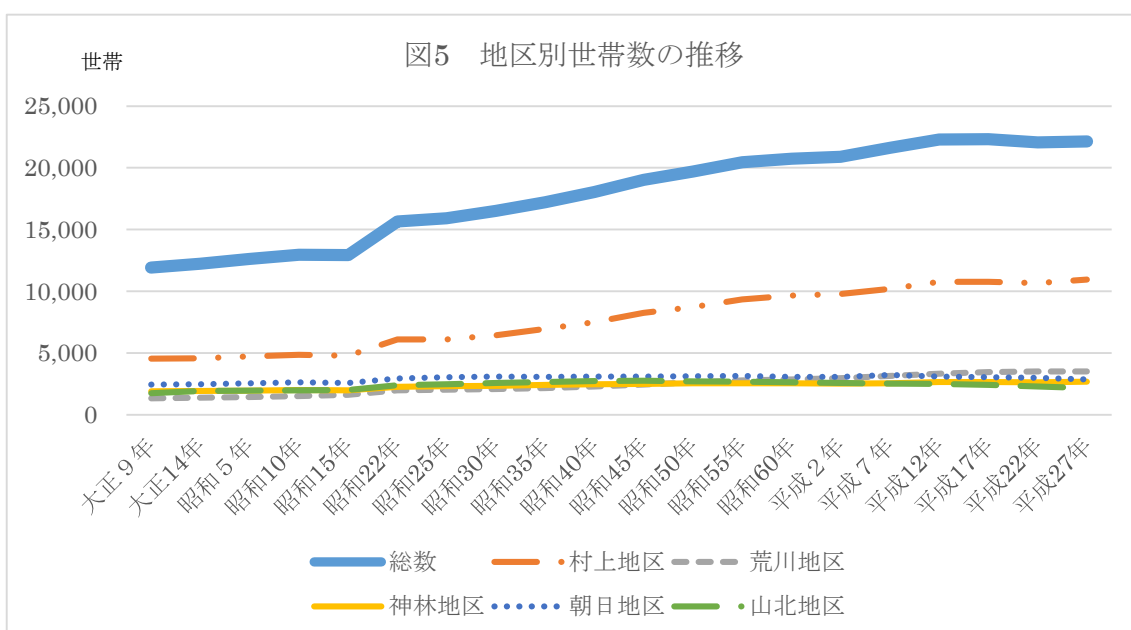
1 総世帯数（一般世帯および施設等の世帯）

- ・ 総世帯数（「一般世帯」＋「施設等の世帯」）は、22,138世帯（全県9位）
- ・ 前回の平成22年に比べ、80世帯（同11位）、0.36%（同12位）増加

表7 地区別世帯数

単位：世帯

実施年	総数	村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区
大正9年	11,923	4,537	1,319	1,898	2,443	1,726
大正14年	12,237	4,560	1,365	1,918	2,468	1,926
昭和5年	12,610	4,719	1,430	1,959	2,552	1,950
昭和10年	12,956	4,848	1,505	2,000	2,627	1,976
昭和15年	12,939	4,776	1,608	1,979	2,570	2,006
昭和22年	15,646	6,099	1,982	2,247	2,932	2,386
昭和25年	15,906	6,083	2,022	2,300	3,033	2,468
昭和30年	16,505	6,436	2,079	2,338	3,079	2,573
昭和35年	17,220	6,950	2,143	2,425	3,050	2,652
昭和40年	18,041	7,497	2,274	2,459	3,097	2,714
昭和45年	19,024	8,247	2,441	2,498	3,086	2,752
昭和50年	19,697	8,725	2,632	2,531	3,104	2,705
昭和55年	20,463	9,337	2,773	2,547	3,129	2,677
昭和60年	20,739	9,645	2,847	2,543	3,072	2,632
平成2年	20,885	9,786	2,947	2,518	3,064	2,570
平成7年	21,612	10,192	3,138	2,531	3,223	2,528
平成12年	22,300	10,768	3,311	2,638	3,080	2,503
平成17年	22,321	10,774	3,454	2,644	3,029	2,420
平成22年	22,058	10,655	3,509	2,631	2,973	2,290
平成27年	22,138	10,938	3,513	2,660	2,861	2,166



市全体で見ると世帯数は横ばいですが、朝日・山北地区では減少傾向にあります。

世帯のうち一般世帯は、22,069世帯で、平成22年に比べ51世帯、0.2%増加しました。

一方、一般世帯の1世帯当たりの人員は平成22年に比べ0.19人減少し、2.75人(位)となりました。地区別にみると、朝日地区が3.27人と最も高く、村上地区が2.49人と最も低くなっています。(市の独自集計)

表8 一般世帯の1世帯当たり世帯人員(県平均 2.65人)

(単位:人)

		一般世帯数	人口	1世帯当たり 世帯人員	地区別 世帯人員
村上市合計		22,069	60,707	2.75	
村上	村上	4,270	10,330	2.42	2.49
	本町	1,828	4,200	2.30	
	岩船	1,643	4,025	2.45	
	瀬波	1,441	3,794	2.63	
	山辺里	1,253	3,725	2.97	
	上海府	461	1,092	2.37	
荒川	保内	2,608	7,366	2.82	2.88
	金屋	899	2,731	3.04	
神林	神納	537	1,800	3.35	3.23
	神納東	436	1,402	3.22	
	平林	1,200	3,877	3.23	
	西神納	482	1,496	3.10	
朝日	館腰	659	2,184	3.31	3.27
	三面	364	1,191	3.27	
	高根	669	2,262	3.38	
	猿沢	568	1,814	3.19	
	塩野町	590	1,870	3.17	
山北	大川谷	797	1,927	2.42	2.57
	中俣	199	527	2.65	
	黒川俣	303	800	2.64	
	八幡	438	1,209	2.76	
	下海府	424	1,085	2.56	

2 一般世帯の家族類型

- 単独世帯が引き続き増加
- 県・国より「ひとり親と子供から成る世帯」の割合が高い

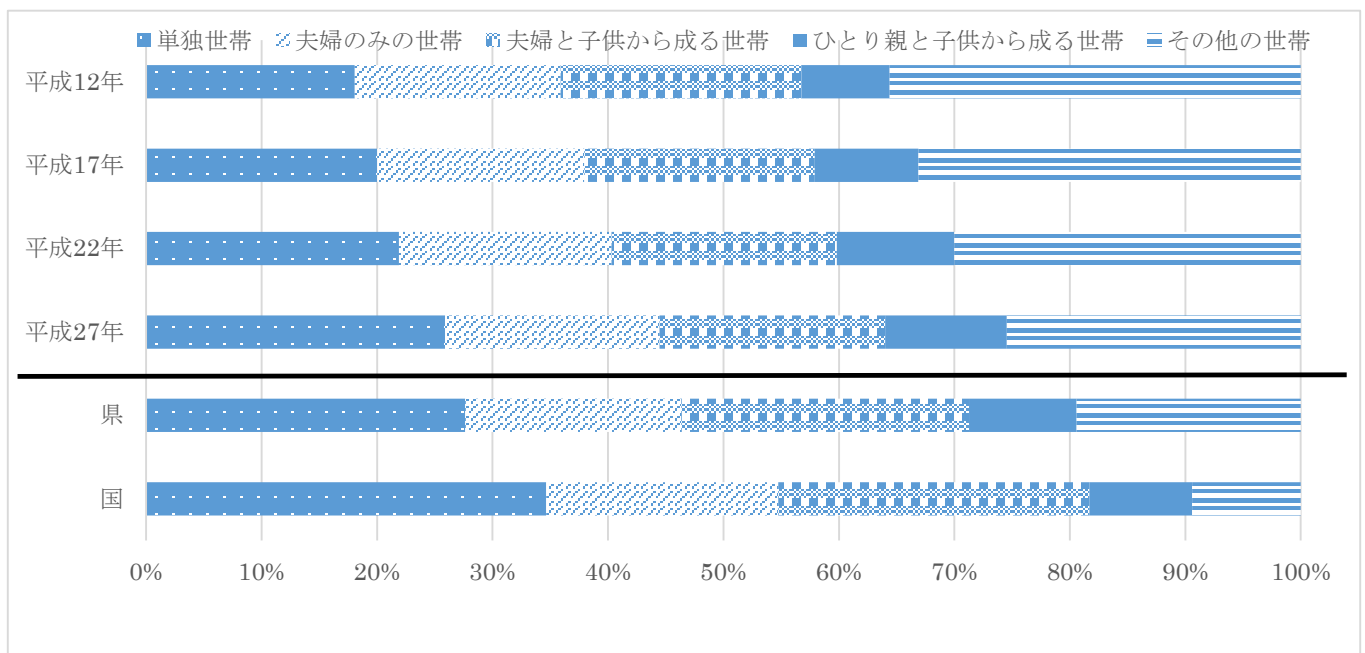
単独世帯が増加傾向にあります。また、「ひとり親と子供から成る世帯」の割合が増加傾向にあり、県や全国と比較しても、割合が高いことが本市の特徴です。(表9・図6)

表9

世帯の家族累計	平成 27 年			平成 22 年			増加率・割合の差		
	世帯	割合%	65歳以上世帯員のいる世帯	世帯	割合%	世帯	%	ポイント	65歳以上世帯員のいる世帯
一般世帯	22,097	100	13,919	22,006	100	13,357	0.41	-	4.21
単独世帯	5,720	25.9	2,797	4,818	21.9	2,241	18.72	4.0	24.81
核家族世帯	10,750	48.6	6,030	10,584	48.1	5,334	1.57	0.6	13.05
夫婦のみの世帯	4,107	18.6	2,955	4,052	18.4	2,642	1.36	0.2	11.85
夫婦と子供から成る世帯	4,316	19.5	1,534	4,296	19.5	1,312	0.47	0.0	16.92
ひとり親と子供から成る世帯	2,327	10.5	1,541	2,236	10.2	1,380	4.07	0.4	11.67
その他の世帯	5,627	25.5	5,092	6,604	30.0	5,782	△14.79	△4.5	△11.93

※一般世帯の数値について...表9はe-statの集計に基づく(市の独自集計により施設分の世帯数の差引が行われる表8の数値とは異なる)

図6 一般世帯の家族類型別割合の推移



- 80歳以上の単独世帯は平成12年から約5倍と急増
- 65歳人口のおよそ8人に1人は単独世帯

「単独世帯」の年齢別推移を、年齢10歳階級別に平成12年以降についてみると、60歳以上の割合は上昇傾向にあり、特に80歳以上の単独世帯は平成12年の202世帯から1,072世帯になり、約5倍の世帯数になっています。

また、65歳以上人口に占める割合は12.6%となっており、65歳人口のおよそ8人に1人は単独世帯となっています。(図7・表10)

図7 単独世帯の年齢別の推移

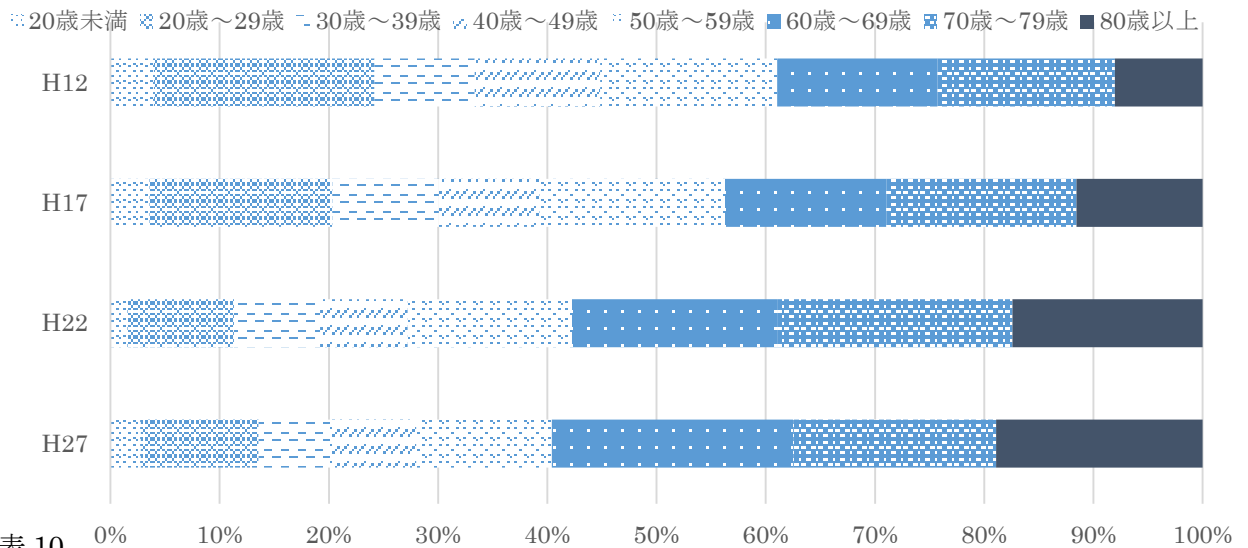


表 10

	H27	H22	H17	H12
◇ 20歳未満	158	74	95	100
◻ 20歳～29歳	610	462	448	508
▨ 30歳～39歳	371	374	259	231
▧ 40歳～49歳	449	382	248	289
◌ 50歳～59歳	703	713	453	408
■ 60歳～69歳	1252	892	395	369
▣ 70歳～79歳	1054	1021	465	409
■ 80歳以上	1072	827	309	202